

vol.

09

2020.02 発行  
府中病院 広報誌

# まごころ心ちゅう

01 ボランティア「なごみ」のご紹介

03 府中 On-Stage  
小児科診療の匠に聞く  
「出産後～1か月健診までのママへの  
アドバイス、お役立ち知識」

05 府中 On-Stage

不安のない胃カメラ検査を目指して  
—内視鏡室看護師の目線から—

07 病院の取り組み  
ホームページリニューアル

09 とびっくす  
「オープンホスピタル 2019」などの  
イベント開催報告

表紙写真：小児科医師と助産師







# ボランティア「なごみ」のご紹介

府中病院ボランティアグループ「なごみ」は、平成20年8月から活動を開始しました。病院という非日常的な空間に、爽やかな日常の雰囲気を運んでくださる病院ボランティアは、府中病院にとってかけがえのない存在です。ボランティア着用のグリーンのエプロンは、医療者ではない地域市民の象徴であり、パートナー（患者さん）のところに「なごみ」を提供します。少しでもパートナーの皆さんのお役に立てればと日々、活動を行っています。エプロン姿を見かけましたらお気軽に声をおかけください。



## 主な活動内容

病院内で、外来患者さんを中心にご案内しています。



昨年は巾着袋を手作り♪  
過去にはカード入れや  
エコたわしも  
手作りしました！



ツリーの  
飾り付け



## 他にも大活躍！

クリスマスコンサートでお渡しするプレゼントを毎年、「なごみ」のメンバーで手作りしています。また、当日のプレゼンターにもなっています。患者さんにとても喜んでいただいています♪

みんなで楽しく袋詰め



昨年の  
クリスマスコンサートでも  
大活躍♪



ボランティア委員が司会を担当



「なごみ」メンバーの独唱



## ボランティアを随時募集しています！

一緒に  
活動しませんか？

- 活動日時………平日、月曜日～土曜日の9時30分～11時30分までの間（応相談）
- 活動内容………病院内での外来患者さんを中心としたご案内
- 受け入れ要件…①18歳以上の心身ともに健康な方  
②原則として、週1回、少なくとも6か月以上継続して活動できる方  
③病院理念「愛の医療と福祉の実現」に共感していただける方
- お問合せ先……府中病院 西館1階 AIF 総合相談センター（総合受付横）  
TEL：0725-43-1234（代）



## 小児科診療の匠に聞く

### 出産後～1か月健診までのママへのアドバイス、お役立ち知識

#### ご出産おめでとうございます!

府中病院では毎月約90名の赤ちゃんが生まれます。

産科医、助産師、薬剤師、われわれ小児科医一同みなさまの赤ちゃんの誕生をお待ちしています。

出産は決して100%安全なものではありません。予想より小さな赤ちゃんが生まれてしまったり、予定日より早く生まれてしまったり、ときとして生まれてから呼吸がしんどかったりすることもあります。我々府中病院小児科チームは、そんなときでも即座に対応できるよう、日頃から勉強したりトレーニングを積んだりしています。お子さんの状態に応じて、初期処置を行ったあと新生児集中治療室(NICU)へスムーズに転院していただけるのでご安心ください。

#### 赤ちゃんが生まれた直後はママは24時間体制

当院では毎月約90名の赤ちゃんが生まれますが、2人目3人目のベテランママもいれば、初心者ママもいます。

出産後のママは、身体もしんどいし、ホルモンバランスの崩れから、ささいなことでも精神的に落ち込んだりもします。身近に相談できる身内や友だちがいればいいですが、実家が遠くであったり相談しにくいママもいると思います。赤ちゃんについての色々な不安や分からないこと、新米ママ1人のかかえこんでしまっただけでは本当にしんどいですよね。出産前のようにテキパキと動けず自分の体もしんどいところ、24時間赤ちゃんのお世話。

オムツ、授乳、抱っこ、エンドレスで続く24時間体制の育児。ママは寝る時間もトイレにゆっくり行く時間ありません。



#### 小児科医からママへ ～出産から1か月健診まで～

私が府中病院に赴任してすぐのころ、そんなママたちの不安に少しでも役に立てればと、小児科のホームページ内に「1か月健診でお母さんから多い質問」ページを作りました。内容はもう10年以上そのままですが、育児に行きづまったとき見ていただき、少しでも「お役立ち知識」として参考になればと思います。

#### 人間1人育てるのが大変

初めてなんだから、どうしていいかわからないのも当然。母乳の出が悪いからって落ち込む必要はありません、抱っこして哺乳瓶でミルクを飲ませてあげるのもステキなことです。目の前の赤ちゃんをみつめてみてください。可愛いでしょう。お父さんお母さんに、おじいちゃんおばあちゃんによく似ています。

まだ目もほとんど見えていませんが、生後2か月くらいになれば近くに顔を寄せるとジッとみてニコッと笑ってくれますよ。そのころには「あー」とか「うー」とか少しお話ししてくれるようになります。

#### 睡眠不足

赤ちゃんがいるとパパと寝不足で全く睡眠がとれないと思います。赤ちゃんを抱っこして立っていると、思わずそのまま寝ちゃって抱っこしてる赤ちゃんを落としちゃうかもしれない、そう思うくらい眠たいですね。

赤ちゃんが全く泣きやまないときは、「こっちが泣きたいわ」とマジでママもパパも泣いてしまうでしょう。

「赤ちゃんってもっと寝るんじゃないの??」そう思うでしょう。不思議ですね。赤ちゃんって案外寝ないものです(笑)。でも、目の前の赤ちゃんは間違いなくママのお腹で育ってママのお腹から出てきました。ママの子ですよ。可愛いですね。

だいじょうぶ、赤ちゃんは知っています。

ママがたくさんお世話してくれてること。

ママのことが一番好きなのですよ。

府中病院で出産されたママ、生まれた赤ちゃんみんなが、しんどいながらも幸せな、かけがえないのない時間を過ごせるよう、私たちが心よりお祈りしています。

そして少しでもそのサポートができるよう、日々努めていきたいと思っています。



小児科 部長 今田 理恵

<専門領域> 一般小児科・新生児・神経

<資格> 日本小児科学会専門医

新生児蘇生法専門コースインストラクター



## 不安のない胃カメラ検査を目指して — 内視鏡室看護師の目線から —



### 以前に比べると…

内視鏡室に長年勤務していると、昔に比べ内視鏡検査は楽に受けることができるという印象が強いです。技術の進歩により、画面に映る映像が綺麗なのももちろんのこと、内視鏡のカメラ自体がどんどん細くなってきました。また、以前は胃カメラを行う場合、喉に麻酔をして、意識のあるうちに検査を行っていたため、どうしても嘔吐反射が強い患者さんには苦しい検査でした。しかし、内視鏡の検査中は眠たくなるお薬（鎮静剤）が使用できるようになり、患者さんからは「本当に楽でした」「目が覚めると検査は終わっていました」と言われ、「これならまた受けてみます」と笑顔で答えられました。それでも、胃カメラを受ける患者さんは「病気に対する不安」「検査に対する不安」があります。

私たちは少しでもその「不安」を軽減できるよう日々の業務に取り組んでいます。

### 当院では ほとんどの方が鎮静剤を使用しています

内視鏡検査を「苦しい」と感じる原因は様々ありますが、主に検査に対する不安や胃カメラの挿入時の嘔吐反射や違和感が考えられます。そこで、当院では通常行っている喉の麻酔に加え、検査に対する緊張や不安を軽減し、苦痛を軽減するために、検査を受ける方の希望があれば「鎮静剤」を使用することができます。ただし、鎮静剤の効果が薄れ、目が覚めるまで、休憩が必要となります。検査当日は車・バイク・自転車などの運転がご自身ではできないなどのデメリットもあります。また、慢性の呼吸不全やアレルギーのある方など鎮静剤を使用できない場合もあります。

検査中は看護師が常に患者さんのそばで血圧、脈拍、呼吸状態を観察しています。また、鎮静剤を使用された患者さんは、担当の看護師が常駐している専用の休憩室にて休んでいます。

鎮静剤について質問などがございましたらお気軽に私たち看護師に聞いてください。



### 安心して胃カメラを受けていただくために

当院内視鏡室の看護師は、専門の知識を有した消化器内視鏡技師が多数在籍しています。さらに、内視鏡のカメラを含め医療機器の取り扱いに特化した臨床工学技師と協働し業務を行っています。

私たちは、患者さんが安全に胃カメラを受けていただくために、看護のエキスパートと多職種が一丸となって、



内視鏡検査が受けられるようにチームとして連携をはかっています。

もし、内視鏡検査について疑問に思われることなどがありましたら遠慮なく看護師に聞いてください。そして、検査室に入ってから検査が終わるまで私たち看護師がいつも患者さんの側にいますのでご安心ください。



## 内視鏡室のご紹介



内視鏡室は主に消化器内科が担当し、年間1万件の内視鏡検査と治療を行っています。

検査室は全部で6部屋（X線透視室含む）あり、検査中は担当のスタッフが呼吸法やマッサージ、声かけを行い、患者さんが安心して検査・治療を受けていただけるように心がけています。さらに、消化器内視鏡技師資格を有する看護師が専門的な知識と技術をもって看護を実践しています。

また、血管造影室での診療や看護にも携わっています。血管造影室では、循環器内科、脳神経外科、放射線科が検査や治療を行っています。

私たち内視鏡室の看護師は吐血などによる内視鏡治療、心筋梗塞や脳梗塞を発症した患者さんのカテーテル治療など、24時間体制で緊急検査・治療ができる体制をとっています。





# 病院の取り組み

府中病院が地域の皆さんに認めていただける「最高の病院」となるための取り組みや活動をご紹介します。

2019年8月29日

## 府中病院ホームページをリニューアルしました！

府中病院の魅力やいろいろな情報を皆さまにもっと知っていただきたいと思い、府中病院ホームページをリニューアルいたしました。

スマートフォンからでも見やすいレイアウトになりました。これからも、最新の情報を掲載していきますので、よろしくお願いいたします。



府中病院ホームページのQRコードです。

### 「府中病院ホームページのトップページ」



### 1. 府中病院 Facebook

#### 公式Facebookはじめました！

当院のさまざまな活動や医療に関する情報などを発信していきたいと考えています。府中病院はこれからも「愛の医療と福祉」を実現するために、「Excellent Hospital（最高の病院）」を目指します。たくさんの「いいね！」をお待ちしています♪



FacebookのQRコードです。

### 2. 府中 On-stage

府中病院で働く多職種のスタッフが、患者さんや医療職をめざしている多くの方に、府中病院の魅力を知っていただこうと定期的に情報発信しているコンテンツです。さまざまな府中病院の情報をご覧いただけます。

### 3. コンセプトムービー

いつも誰かの温もりに。  
生長会・悠人会の“想い”を「コンセプトムービー」として制作しました。YouTubeでご覧いただけます。

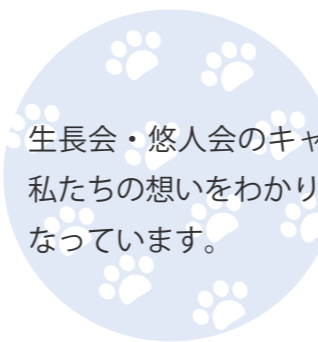


## 「生長会・悠人会」の取り組み

### いつも誰かの温もりに。

生長会・悠人会の考えや想いを地域の皆さまをはじめ、多くの方々に知っていただくためにカルチャーブックを制作しました。

外来の待ち合いスペースや病棟のデイルームに設置していますので、お持ち帰りになって、ご家族一緒にご覧ください。



生長会・悠人会のキャラクター「にこまる」が、私たちの想いをわかりやすく伝えるサポート役となっています。



昨年のオープンホスピタルでは、ノベルティのエコバッグに「にこまる」が登場！



これから、いろんな場面に「にこまる」が登場します！よろしくお願いいたします。



#### 生長会・悠人会 キャラクターのご紹介

名前：にこまる

人が大好きで、いつも愛にあふれている。にぎやかで楽しい場所が大好き。人と地域と共に成長している。





## 9月

### 大阪 880 万人訓練

9月5日11時00分、緊急避難速報のアラームにあわせて、府中病院でも災害訓練を行いました。いつ起こるかわからない災害に備えて、一人ひとりが本番さながらの訓練を行いました。



## 10月

### オープンホスピタル

3回目の開催となる今年度も1,000人を超える大勢の方にご来場いただきました♪ご参加いただいたみなさんと一緒にスタッフも笑顔で楽しむことができました。

わくわくウキウキ  
府中体験!



手術室を覗いてみよう

あなたもミニナース  
(白衣を着て看護師体験)



超音波(エコー)って何?超音波検査を体験



赤ちゃんおひるねアート

## 11月

### 消防避難訓練

和泉市消防本部のご協力のもと、消防避難訓練を行いました。  
エアーストレッチャーでの患者搬送訓練や消火器訓練、煙体験訓練を行いました。



## 12月

### クリスマスコンサート

今年で17回目の府中病院クリスマスコンサートを開催しました。  
患者さんやご家族にすてきなクリスマスを楽しんでいただきました♪



ボランティア「なごみ」スタッフの独唱



泉北マジッククラブによるマジックショー



泉大津市吹奏楽団の生演奏



## 急性期病院としてのお願い

当院には、救急車で搬送される患者さん、緊急に入院の必要な患者さん、他の医療機関からのご紹介で手術や精密な検査を行う患者さんが多数来られます。

当院は、このような重症患者さんを迅速に受け入れ、特に緊急の治療が必要な病気やケガに対して、急性期の医療を行っています。そのためには日ごろから入院用の空きベッドを準備しなければなりません。

こうした理由から当院では、病状が落ち着きましたら早期の退院、他院への転院、施設への入所をお願いしております。北泉州地域の救急用ベッドを、次に必要な救急・重症患者さんにご提供するために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



## AIF 総合相談センター／がん相談支援センターのご案内

AIF 総合相談センターは、患者さんやご家族の皆さんの療養生活に関するご不安やご不明なことを各専門分野のスタッフが、皆さんと一緒に考えていく窓口です。また、当院は「大阪府がん診療拠点病院」であり、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて相談することができます。何でもお気軽にご相談ください。ご相談をご希望の方は、AIF 総合相談センターのスタッフまでお申し出ください。

※患者さんの相談内容の秘密は厳守いたします。

- ◆ 相談時間：月～土曜日（祝祭日除く） 9：00～17：00
- ◆ 場 所：西館 1 階 総合受付横



### 府中病院の 基本方針

Excellent hospital  
一最高の病院を目指す一

単に良い病院ではない、さらに良い病院でもない、  
自他ともに認める最高の病院を目指します！

### 私たちの 理念

**使命** 愛の医療と福祉の実現

**会是** 地域と職員と共に栄えるチーム  
Yu・ki・to・do・ku  
ゆき届いたサービス

### 診察時間のご案内

#### [受付時間]

午前受付 8：00～11：45  
午後受付 各診療科により異なります

#### [診療時間]

午前診療 9：00～  
午後診療 各診療科により異なります

#### [休診日]

日曜日・祝祭日・年末年始  
※救急診療は行っていますのでお問い合わせください



# 府中病院

〒594-0076 大阪府和泉市肥子町1丁目10番17号  
Tel.0725-43-1234 <http://seichokai.jp/fuchu/>

府中病院広報誌「まごころふちゅう」Vol.9 / 2020年2月発行 編集・発行 / 府中病院企画室

